

令和6年度食品の試験検査実績（10月）

1 目的

県内で製造された食品及び県内を流通する食品等について、規格基準、表示基準等に基づき収去検査することにより、違反食品、不良食品の排除に努め、もって県民の食生活の安全を確保する。

2 試験検査計画・実績（10月分）

検査項目	対象食品	当月 検体数	令和6年度 検体数累計	令和6年度 検査計画数	当月基準 不適合数
成分規格、添加物、微生物等 規格基準検査	国産一般食品	118	644	1,185	0
	輸入一般食品	48	258	378	0
添加物表示検査	国産一般食品	63	284	564	0
	輸入一般食品	20	139	143	0
残留農薬	輸入農産物	0	59	75	0
動物用医薬品	県内と畜食肉	16	114	161	0
	輸入食肉、牛乳等	15	55	57	0
遺伝子組換え食品	輸入トウモロコシ、 大豆、米加工品等	24	24	40	0
放射性物質	県内産農畜水産物	6	15	43	2
	県内流通食品	10	80	110	0
カビ毒	輸入ナッツ類、香辛料等	0	0	8	0
貝毒	浜名湖産貝類	0	0	10	0
水銀	県内水揚げ魚介類	0	11	12	0
アレルギー	一般食品	0	60	130	0
腸管出血性大腸菌、 腸炎ビブリオ等	一般食品 (加熱せず喫食するもの)	90	791	975	0
E. coli検査	県内加工食品	25	205	109	0
合計		435	2,739	4,000	2

（参考）検査に基づく基準不適合及び措置の内容

（令和6年10月）

No	食品名称	内容	担当保健所	措置等
1	野生きのこ (富士宮市)	2検体で基準値 ^{※1} を超える 放射性セシウム検出	/	引き続き 出荷等自粛要請 ^{※2}

※1 一般食品の基準値 100Bq/kg 以下

※2 富士宮市の野生きのこについては平成25年10月以降、出荷制限が継続されており、市場に流通することはありません。